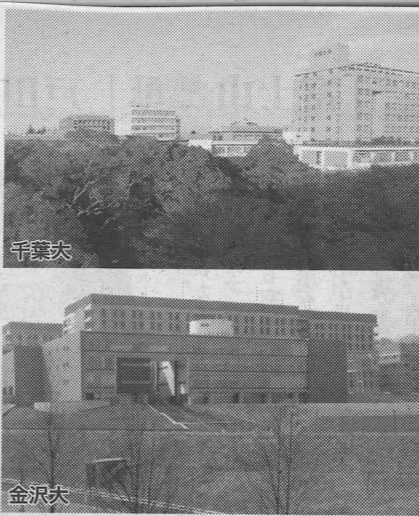


文科省支援事業獲得件数で分かる

グローバル時代を 生き抜く大学はココだ



千葉大



金沢大



国公立大▽千葉大、金沢大、京大、九大：
私立大▽芝浦工大、早大、金沢工大、上智大：

文科科学省は大学の支援事業に力を入れ、競争的資金を導入し、改革に意欲的な大学を手厚く支援していく方針に舵を切った。支援事業を積極的に活用している大学はどこか。

少子化によって、2018年から18歳人口が再び減り始める。現在の約120万人が20年後には100万人程度になると見られている。一方で、大学の数は増え続け、04年の709校から、現在は781校になり、

来年度は新たに3校が新設される。このような中で、大学間競争は厳しさを増している。日本私立学校振興・共済事業団の調べでは、私大で14年春の入学者が定員割れしたのは全体の46%に

上っている。同事業団関係者は言う。「この状態は今後も変わらず、新入生の確保は厳しい状況が続くでしょう」これだけではない。国の財政難ということもあり、文科省は、国立大への交付

金や私立大への助成金を減らしている。一方で、改革に意欲的な大学へは補助金をつける競争的資金の導入を進めている。文科省幹部が説明する。

「これまでのように、何かから何まで一律に資金を配分するということは国の財政状況を考えても難しい。グローバル化、少子高齢化が進む中、将来を見据えたアイデアや、改革意欲のある大学を積極的に応援するため、競争的資金の導入を進

めています。知恵を出さない大学が経営的に厳しくなってしまう」

実際、文科省は多彩な分野で大学支援事業を展開している。74からの表を見てほしい。これは文科省が公募して、各大学が申請する支援事業の採択件数別のランキングだ。

支援事業の中身を見てみよう。例えば今年から始まったのが「スーパーグローバル大学創成支援」(SGU)だ。大学改革と国際化

を進め、国際競争力の高い大学を支援していく事業だ。タイプAとBに分かれ、Aでは世界の大学ランキングベスト100入りを目指し、13校の構想が採択され、Bは日本のグローバル化の牽引役を期待され、24校の構想が採択された。

最大10年にわたり、タイプAでは年額5億円、タイプBでは入学定員の規模で同2億円と3億円に分かれるが、多額の補助金を受け取ることができる。採択されたのは合計で37校だが、申請した大学は104校に上った。まさに競争的資金の獲得競争時代に突入したといえよう。

では、このような支援事業に数多く採択されている大学はどこなのか見ている。国公立大のトップは千葉大の7件だ。表では全部で11件の支援事業を載せているが、同大はその約6割で採択されたことになる。2位は金沢大、京都大、九州大の6件。採択件数の真

には、申請したが通らなかった大学も数多い。5位の東大は5件採択されているが、「グローバル人材育成推進事業」は申請したもの

SGU採択で新学部創設も…

一方、私立大ではこの11件に、私立対象の「改革総合支援事業」の4件を加えた15件でランキングを作成している。トップは芝浦工業大の10件。2位が早稲田大と金沢工業大の9件、4位が上智大の8件だった。このランキングから、何が見えてくるのか。教育ジャーナリストの小林哲夫さんに聞いた。

「大学の得意分野を知ることができると、支援事業に採択されるということからは、改革に向かって大学内の意思統一が図られていることの尺度になります。逆に採択されていないということは、改革に対して大学が一枚岩になっていないと見ていいでしょう」

の不採択だった。同大は表中の11件のうち6件に申請し、「グローバル人材育成推進事業」以外の5件で採択されたことになる。

表を見ると九州大や早稲田大は、グローバル関係の支援事業を軒並み獲得し、ここに力を入れていることが分かる。

私立大の5位で7件採択されたのが福岡工業大。採択率は100%で、改革総合支援事業では4項目すべてに採択された。工、情報工、社会環境の3学部があり、面倒見が良く、就職に強いとの評価が高い。しかも少子化の中、8年連続で志願者を増やし続けている。下村輝夫学長が言う。「支援事業に積極的に申請しているのは、新たに補助金を確保する狙いもありますが、支援事業の成果を教育に還元していくことが大きな目的です。学生のこと

を一番に考える大学として、教育のための研究に力を入れていきます。今後はグローバル化にもっと力を入れていきたいと思っています」では、支援事業に採択されることは、少子化で厳しい生徒募集にどう影響しているのか。駿台予備学校進学の石原賢一さんに聞いた。「採択されただけでは、志願者増には結び付きません。その内容をパンフレットやオープンキャンパスなどで、受験生や保護者に伝え、具体的にどのような力が身につくかまで説明しないと志望動機にはなりません。それができて初めて、大学のブランドアップに結び付くと思います」

前述の通り、採択件数でトップに立つ千葉大と芝浦工業大は今、教育関係者の注目を集めている。石原さんは、こう話すのだ。「千葉大はSGUに採択され、16年に国際系学部新設を計画中ですが、採択され

た内容が教育すなわち学部新設などと結び付くと分かりやすく、受験生にも理解されます。一方、芝浦工業大は早くから改革を進めており、中身を分かりやすく伝える発信力がすぐれていることが、注目される理由ではないでしょうか」他にもSGUに採択された東洋大が、17年に国際学部グローバル・イノベーション学科(仮称)の設置を構想中だ。これも支援事業の具体化の例だ。

私立大学

順位	大学名	所在地	選定件数合計	スーパードグローム 大学創成支援	国際化拠点整備事業 (グローバル30)	グローバルCOE プログラム	育成推進事業	強化事業	大学の世界展開力	地(知)の拠点 整備事業	大学教育推進プログラム	大学教育再生加速 プログラム	共同教育推進事業	私立大学等改革 (教育の質的転換)	総合支援事業 (タイプ1)	他大学等との連携 (タイプ2)	支援事業 (タイプ3)
1	芝浦工業大	東京	10	○			○			○	○	○	○	○	○	○	○
2	早稲田大	東京	9	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
	金沢工業大	石川	9							○	○	○	○	○	○	○	○
4	上智大	東京	8	○	○		○	○					○	○	○	○	○
5	明治大	東京	7	○	○		○	○					○	○	○	○	○
	立命館大	京都	7	○	○		○	○					○	○	○	○	○
	関西学院大	兵庫	7	○			○	○					○	○	○	○	○
	福岡工業大	福岡	7								○	○	○	○	○	○	○
9	共愛学園前橋国際大	群馬	6				○			○	○	○	○	○	○	○	○
	杏林大	東京	6				○			○	○	○	○	○	○	○	○
	慶應義塾大	東京	6	○	○						○	○	○	○	○	○	○
	京都外国語大	京都	6								○	○	○	○	○	○	○
	京都産業大	京都	6				○				○	○	○	○	○	○	○
	関西大	大阪	6							○	○	○	○	○	○	○	○
	立命館アジア太平洋大	大分	6	○			○	○			○	○	○	○	○	○	○
16	青森中央学院大	青森	5								○	○	○	○	○	○	○
	国際医療福祉大	栃木	5								○	○	○	○	○	○	○
	明海大	千葉	5								○	○	○	○	○	○	○
	青山学院大	東京	5				○	○			○	○	○	○	○	○	○
	女子美術大	東京	5				○				○	○	○	○	○	○	○
	創価大	東京	5	○				○			○	○	○	○	○	○	○
	東洋大	東京	5	○				○			○	○	○	○	○	○	○
	法政大	東京	5	○				○			○	○	○	○	○	○	○
	立教大	東京	5	○				○			○	○	○	○	○	○	○
	愛知大	愛知	5				○				○	○	○	○	○	○	○
	名城大	愛知	5					○			○	○	○	○	○	○	○
	同志社大	京都	5		○			○			○	○	○	○	○	○	○
	龍谷大	京都	5					○			○	○	○	○	○	○	○
	関西国際大	兵庫	5					○			○	○	○	○	○	○	○
	西日本工業大	福岡	5					○			○	○	○	○	○	○	○
	西九州大	佐賀	5					○			○	○	○	○	○	○	○
32	千歳科学技術大	北海道	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	仙台大	宮城	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	東北公益文科大	山形	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	埼玉医科大	埼玉	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	聖学院大	埼玉	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	ものづくり大	埼玉	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	千葉科学大	千葉	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	亜細亜大	東京	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	昭和大	東京	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	昭和女子大	東京	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	中央大	東京	4					○	○		○	○	○	○	○	○	○
	東京電機大	東京	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	金沢星稜大	石川	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	日本福祉大	愛知	4					○	○		○	○	○	○	○	○	○
	神戸学院大	兵庫	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	武庫川女子大	兵庫	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	吉備国際大	岡山	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	倉敷芸術科学大	岡山	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	広島修道大	広島	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	四国大	徳島	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	福岡大	福岡	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	長崎外国語大	長崎	4					○			○	○	○	○	○	○	○
	日本文理大	大分	4					○			○	○	○	○	○	○	○

文部科学省支援事業 採択数ランキング

表の見方 表は、文部科学省の各種支援事業の採択（○印のもの）が多い順にランキングした。私立大には私立大学対象の「私立大学等改革総合支援事業」を加えた。医学系や獣医学系等の学部が限られる専門的業務、また、東日本大震災の被災地が対象となるような地域が問われる事業、大学院対象の事業は除いた。原則として、平成26年に補助金が支払われている事業を掲載した。

国公立大学

順位	大学名	所在地	選定件数合計	スーパードグローム 大学創成支援	国際化拠点整備事業 (グローバル30)	グローバルCOE プログラム	育成推進事業	強化事業	大学の世界展開力	地(知)の拠点 整備事業	大学教育推進プログラム	大学教育再生加速 プログラム	共同教育推進事業	産業界のニーズに対応した 教育改善・充実に資する整備事業
1	△千葉大	千葉	7	○			○	○		○	○	○	○	○
2	△金沢大	石川	6	○						○	○	○	○	○
	△京都大	京都	6	○	○	○		○		○	○	○	○	○
	△九州大	福岡	6	○	○	○	○	○						○
5	△北海道大	北海道	5	○		○		○						○
	△東北大	宮城	5	○	○		○	○						○
	△東京大	東京	5	○	○	○		○						○
	△大阪大	大阪	5	○	○	○		○						○
	大阪府立大	大阪	5							○	○	○	○	○
	△広島大	広島	5	○				○		○	○	○	○	○
	△愛媛大	愛媛	5					○		○	○	○	○	○
	△長崎大	長崎	5					○	○					○
13	△筑波大	茨城	4	○	○		○	○						○
	△お茶の水女子大	東京	4				○	○				○	○	○
	△東京医科歯科大	東京	4	○			○	○				○	○	○
	△東京工業大	東京	4	○		○	○	○						○
	△新潟大	新潟	4				○	○						○
	△福井大	福井	4				○	○						○
	△名古屋大	愛知	4	○	○	○		○						○
	△香川大	香川	4					○		○	○	○	○	○
	北九州市立大	福岡	4				○	○				○	○	○
22	△秋田大	秋田	3					○		○	○	○	○	○
	国際教養大	秋田	3	○			○	○						○
	△山形大	山形	3					○		○	○	○	○	○
	会津大	福島	3	○				○						○
	△茨城大	茨城	3					○		○	○	○	○	○
	△一橋大	東京	3				○	○			○	○	○	○
	滋賀県立大	滋賀	3					○		○	○	○	○	○
	△京都工芸繊維大	京都	3	○				○						○
	兵庫県立大	兵庫	3					○		○	○	○	○	○
	△島根大	島根	3					○		○	○	○	○	○
	島根県立大	島根	3					○		○	○	○	○	○
	△岡山大	岡山	3	○				○				○	○	○
	△山口大	山口	3					○				○	○	○
	△徳島大	徳島	3					○				○	○	○
	△佐賀大	佐賀	3					○				○	○	○
	△熊本大	熊本	3	○				○		○	○	○	○	○
	熊本県立大	熊本	3					○		○	○	○	○	○
	△琉球大	沖縄	3					○		○	○	○	○	○

△は国立大、無印は公立大